体験活動を通して、幼少期の子ども同士や家族間の交流を促進

ネイパル砂川 親子 de 体験！わくわくネイパル

1　事業のねらい

親子での体験活動をとおして、親子の絆を深めるとともに、参加者同士の交流を図り、家庭教育支援の充実を図る機会とする。

2　事業の概要

■期日 R６.12.14(土)～15(日)　１泊２日
■対象 小学校１年生～小学校３年生までのお子様を含む家族
■人数 13 家族 40 名
■場所 ネイパル砂川

3　プログラム

	13:00	13:30		15:00		17:15	19:00	21:30
14 (土)		受付	・出会いの集い ・なかよくしようね！	活動１ 『ケーキ作り』	ベッド メイク	夕食	19:00～21:00 入浴・自由時間 21:00～就寝準備	就寝
6:30	7:30		8:45	9:30		11:00		
15 (日)	起　床 朝の支度	朝　　食 部屋清掃	部屋点検 活動の準備	活動２ 『ミニツリー作り』	ふりかえり 11:30 解散			

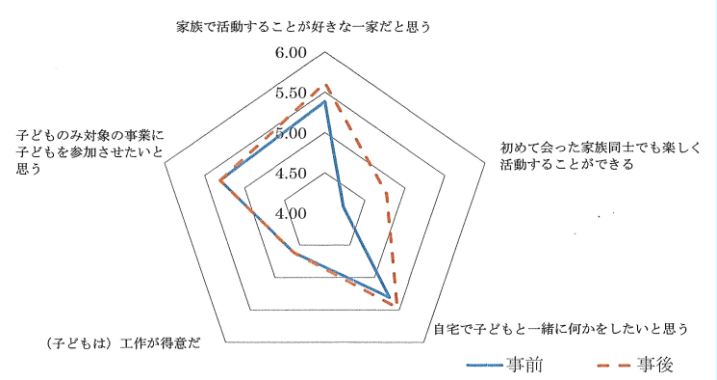
4　ねらいを達成するための活動の工夫

■幼少期の子ども同士や家族間の交流を図るプログラム
・最初に「なかよくしようね！」でクリスマスバスケットや相手を見つけてじゃんけんをするゲーム、自由時間には、テーブルゲームやカプラ、運動コーナーを設定することにより、子ども同士や家族間の交流が持てるように工夫した。
■親子の絆を深めるプログラム
・活動２「ミニツリー作り」では、親子で一緒に制作を楽しむきっかけとなるように、白樺の木を大小組み合わせて積み木のように作れることや木の実や色々なオーナメントを選択できるように沢山準備するなど工夫した。

参加者同士の交流を図る体験

家族の絆を深めるプログラム

5　事業の評価　５観点の質問項目で事前事後の変容調査を実施



家族で活動することが好きな一家だと思う」では 0.2 ポイント、「初めて会った家族同士でも楽しく活動することができる」では 0.6 ポイントの上昇。体験活動をとおして、親子の絆を深め、参加者同士の交流を図るきっかけとなったと考えられる。

6　ねらいを踏まえた成果と課題

●保護者からは、「“自分のことは自分でやる”気持ちが生まれた感じがした。」また、子どもたちからは、「友だちが４人もできて嬉しかった」と、声があった。今後も幼少期の子ども同士や家族間の交流の場として、また、家族間の絆を深める企画していきたい。
○参加した他家族との交流が深まるよう、活動を工夫する。

企画のポイント

体験活動をとおして子ども同士や家族間の交流を図り、親子の絆を深める。